

除草も出来ていない現場実態が明らかに！！ 会社は、現場の足下を見るべきだ！！

線路近くに繁茂
草刈り安全守れ

二本松市・官野 力雄

(農業 81)

車を運転していて何年も前から思うことがある。JRの線路の踏切で、いったん停止して左右を見ると、どこの踏切でも土手に草が生えている。それだけではなく、複線であれば上り下りの線路の中央にまで、約二メートル近くもありそうなスキが伸びているのを見掛けることもたびたびある。驚きの光景である。

伸びている草もスキも、冬には枯れ落ちる。道徳のない人が、万が一に火の付いたタバコの吸殻をぽいっと捨てたならば、火が付いて、何きもの火の川になるかもしれない。それを思うとぞっとする。

旧国鉄の線路班の人たちは、線路内には草一本生やさないう努力していたという。服の乱れは心の乱れと言われる。スキ一本が大惨事になる可能性も大いにある。線路の景観を良くし、安全は輸送業務の最大の使命だと再確認をお願いする。

らば、火が付いて、何きもの火の川になるかもしれない。それを思うとぞっとする。

11月 1日 福島民報新聞
みんなの広場掲載



11月1日、福島民報新聞の「みんなの広場」において、線路内の草の状況を見ての書き込みが掲載されました。

現在、水戸地本管内の線区に乗務している乗務員からも、「線路内外の草の繁茂状況がすごいことになっている。」「いつ、列車に接触するか分からない。今後の乗務が心配！」等の意見が寄せられています。

新聞の書き込みにある通り、本格的な冬に入り、草が枯れた状態で放置されれば、火災の恐れを危惧されるのは必然です。

水戸地本として、関係箇所と問題点の議論を行うと共に、会社に対して改善に向けた議論をつくり出していきます。

身近な問題を集約し、安全について議論しよう！